岡山県倉敷市 下水熱利用への取組み



2016 / 2 / 18

倉敷市環境リサイクル局下水道部



はじめに

倉敷市の概要

面 積 約355 km²

総 人 口 約484,000人

倉敷市の下水道事業

単独公共下水道 5処理区

流域関連公共下水道 1処理分区

下水道管 約1,940km

下水処理場 4ヵ所

ポンプ場 24ヵ所

下水道人口普及率 76.2% 污水処理人口普及率 90.6%

(平成26年度末現在)







再生可能エネルギー有効利用への取組み

「環境最先端都市」を目指す倉敷市の環境施策

- > 倉敷市第六次総合計画
- ▶ 倉敷市地球温暖化対策実行計画(クールくらしきアクションプラン)
- > 第11次下水道整備五箇年計画



消化ガス発電設備「くらげんき」

竣 工 平成27年

施 設 詳 細 25 kW × 3 台 (将来5台)

年間発電電力 90万 kWh

CO₂ 削減量 650 t-CO₂/年



H26 下水熱利用への取組み(児島マリンプール)

担当者 検討

FS

部内合意

熱利用者 への提案

庁内合意

事業化

児島下水処理場の処理水を,隣接する児島マリンプールの プール加温用熱源として利用検討



倉敷市児島地区公園水泳場 (愛称:児島マリンプール)

開 設 年 平成15年

施設詳細

- ▶ 屋内プール 25 m 8コース
- ▶ 屋外プール 50 m 9コース

飛込プール

既設加温設備空冷HP



H26 下水熱利用への取組み(児島マリンプール)

担当者 検討

FS

部内合意

熱利用者 への提案

庁内合意

事業化

下水道部局

メリット

- ▶ 環境施策とのマッチング
- ▶ 社会面での貢献

課題

- > 実績が少ない
- ▶ 老朽化改築とのマッチング
- ▶ 費用対効果



事業化は困難



実現可能性調査(倉敷市屋内水泳センター)

担当者 検討

FS

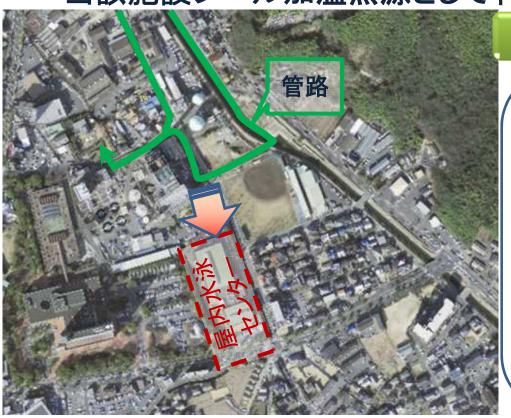
部内合意

熱利用者 への提案

庁内合意

事業化

▶ 倉敷市屋内水泳センター周辺の管路から、下水(未処理水)を 当該施設プール加温熱源として利用検討



倉敷市屋内水泳センター

開 設 年 昭和56年

施設詳細

▶ 屋内プール 25 m 7コース

50 m 8コース

幼児プール

既設加温設備

蒸気ボイラ



今後の課題と展開

担当者 検討

FS

部内合意

熱利用者 への提案

庁内合意

事業化

下水道部局

メリット

- ▶ 環境施策とのマッチング
- ▶ 社会面での貢献
- ▶ 老朽化改築とのマッチング
- > 費用対効果

課題

> 実績が少ない



今後の課題と展開

担当者 検討

FS

部内合意

熱利用者 への提案

庁内合意

事業化

なぜ下水熱を利用する必要があるのか

- ▶ 設備保有・管理境界をどうするか
- ➤ 実績が少ない etc.

環境面

• 環境最先端都市を目指す市の施策と合致

コスト面

採算が取れる見込みあり

社会面

- 広報活動・環境学習への利用
- 地域創生支援に貢献
- 兵庫以西初の導入



ご清聴ありがとうございました

岡山県倉敷市 下水熱利用への取組み

